

- 問1 日本の諸地域の産業に関する統計において、人口が約755万人と非常に多く、農業産出額のうち「花き（切り花や鉢物など）」の産出額が約543億円に達するという特徴を持つ県はどこですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）
1. 千葉県 2. 愛知県 3. 静岡県 4. 鹿児島県
- 問2 ある県の産業別就業者割合を確認すると、第2次産業の割合が約33%と全国的に見ても高い水準を示している。この県は東海工業地域に位置し、輸送用機械や楽器などの製造業が盛んである。この県として最も適当なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 青森県 2. 北海道 3. 沖縄県 4. 静岡県
- 問3 新潟県において、大規模な稲作が行われている地域の地形的な特徴を説明したものと、最も適切なものはどれですか。河川と平野の関係に注目して選びなさい。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 険しい山地が海岸近くまで迫り、河川の運ぶ土砂によって小規模な扇状地が点在している 2. 山脈や山地の間の盆地を大河川が貫流し、その下流に広大な平野が形成されている 3. 火山が連なる半島状の地形で、火山灰を含んだ水はけの良い土地が広がっている 4. 広大な台地を多くの河川が浸食し、段丘面を利用した大規模な林業や果樹栽培が行われている
- 問4 富山県砺波市などの散村地域において、1960年代には曲線状で細かく入り組んでいた道路が、1990年代後半には直線状の道路へと再整備されました。このような土地基盤の整備を中心となって進めた事業の名称として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 高度経済成長事業 2. 農業構造改善事業 3. 国土利用計画事業 4. 地方創生整備事業
- 問5 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）
1. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため 2. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため 3. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため 4. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため
- 問6 2014年の工業統計において、愛知県と静岡県の製造品出荷額の内訳を確認すると、ある共通の工業部門が非常に高い割合を示しています。特に愛知県では県全体の出荷額の約半分を占めるこの工業部門の名称として、正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 電子部品・デバイス工業 2. 繊維工業 3. 輸送用機械器具製造業 4. 金属製品製造業
- 問7 ある都市の計画において、現状を「自家用車中心の生活により施設が郊外に分散している状態」とし、これを「公共交通の沿線や駅周辺に医療・商業などの施設を集め、徒歩や電車での移動を容易にする状態」へ転換しようとしています。このような計画を進める背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 高齢者が運転免許を返納した後も、公共交通を利用して通院や買い物が続けられる環境を整えるため。 2. 中心市街地の渋滞を緩和するため、主要な行政機関や商業施設をすべて郊外の幹線道路沿いに移転させるため。 3. 郊外の未開発地を積極的に住宅地として造成し、都市の面積をさらに拡大させて人口増加を図るため。 4. 自家用車の利用をさらに促進することで、二酸化炭素の排出量を削減し環境保護につなげるため。
- 問8 群馬県嬬恋村と愛知県豊橋市の月別平均気温を比較すると、夏季において嬬恋村は豊橋市よりも大幅に気温が低く、キャベツの生育に適した温度が保たれています。このような農業が行われている地域として、共通する地理的条件を答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 内陸の広大な盆地 2. 緯度が低い地域 3. 暖流の影響を強く受ける沿岸部 4. 標高が高い地域
- 問9 三重県などの山地や谷間の傾斜地において、平地が少ない地形を利用するために斜面を切り開き、階段状に作られた水田を何と呼びますか。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. 棚田 2. 干拓地 3. 輪中 4. 段々畑
- 問10 中部地方の3つの都市について、1月の気温と降水量のデータを確認したところ、ある都市では1月の平均気温がマイナス0.5度と低く、1月の降水量も約30mmと非常に少なくなっていました。このような特徴を持つ「内陸の気候」がみられる都市として、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
1. 上田市 2. 金沢市 3. 浜松市 4. 上越市
- 問11 中京工業地帯は地域によって主要な工業が異なります。愛知県豊田市周辺では自動車工業が中心であるのに対し、三重県の日上市周辺で特に発達し、他産業に原材料を供給する役割を担っている工業の名称を選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 精密機械工業 2. せんい工業 3. 石油化学工業 4. 食料品工業
- 問12 中部地方の地形の特徴を説明した文章として、飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈の3つの山脈の関係性が正しく述べられているものを選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）
1. 東北地方から続く奥羽山脈が長野県に入ると、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つに枝分かれする。 2. 木曽山脈と赤石山脈は関東地方に位置し、飛騨山脈だけが長野県に位置している。 3. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。 4. 飛騨山脈と越後山脈の間に赤石山脈が位置しており、これらは北アルプスと呼ばれている。
- 問13 長野県などの標高が高い地域で行われている「高冷地農業」の説明として、生産される主な品目と出荷時期の組み合わせが正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. レタスやキャベツなどの高原野菜を、主に6月から9月の夏場に出荷する 2. ミカンやポンカンなどの果実を、一年を通じて安定的に出荷する 3. ナスやピーマンなどの夏野菜を、主に1月から3月の冬場に出荷する 4. レンコンやイグサなどの水生植物を、主に秋から冬の時期に出荷する
- 問14 長野県は海に面していない内陸県であり、全国で最も多い8つの県と隣接しています。長野県の北東側に位置し、かつて富岡製糸場を中心に製糸業が発展したことや、現在では高原野菜の栽培が盛んなことで知られる隣接県を選んでください。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 石川県 2. 群馬県 3. 栃木県 4. 埼玉県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 愛知県	愛知県は、中京工業地帯の中核として工業が盛んである一方、農業も非常に発達しています。特に渥美半島などを中心に、温室を用いたバラやキクなどの「花き」栽培が盛んで、その産出額は全国でもトップクラスです。多くの人口を抱える大消費地が近いという地理的条件も、農業の発展に大きく寄与しています。
問2	答え 4 静岡県	東海工業地域に含まれ、浜松市の輸送用機械（オートバイ・自動車）や楽器、富士市の製紙・パルプ産業などが発達しているため、第2次産業就業者割合が高いのが特徴である。北海道や青森県は農業や漁業などの第1次産業の割合が比較的高い傾向にあり、沖縄県は第3次産業の割合が極めて高い。
問3	答え 2 山脈や山地の間の盆地を大河川が貫流し、その下流に広大な平野が形成されている	新潟県では、信濃川や阿賀野川といった日本屈指の大河川が、山脈の間に位置する盆地を通じて日本海へと流れています。これらの河川が運んだ土砂が下流に堆積することで、越後平野のような広大な平野が形成されました。豊富な水資源と肥沃な平野部が組み合わさったこの地形は、日本最大級の稲作地帯を支える重要な基盤となっています。
問4	答え 2 農業構造改善事業	日本の農業における生産構造の遅れを解消し、農家の所得向上や生活環境の整備を目指して実施されたのが農業構造改善事業です。砺波平野の散村ではこの事業を通じて、散在する住宅の利便性を保ちつつ、近代的な農業経営が可能ないように道路や用水路、耕地の形状が直線的に整備されました。
問5	答え 4 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。
問6	答え 3 輸送用機械器具製造業	中部地方、とりわけ東海地方の工業は、自動車や鉄道車両、船舶などの製造を指す「輸送用機械器具製造業」が中心です。愛知県の豊田市を中心とした自動車産業や、静岡県での二輪車・自動車部品の生産が盛んであり、製造品出荷額において他部門を圧倒する規模を誇ります。このため、日本の工業地帯・地域の中でも中京工業地帯や東海工業地域は高い出荷額を維持しています。
問7	答え 1 高齢者が運転免許を返納した後も、公共交通を利用して通院や買い物が続けられる環境を整えるため。	高齢化社会においては、車を運転できない住民の移動手段を確保することが重要な課題となります。駅やバス停周辺に機能を集中させることで、公共交通の利用者を増やして路線を維持しやすくするとともに、除雪やインフラ整備などの行政サービスを効率化するねらいがあります。
問8	答え 4 標高が高い地域	高冷地農業が成立する最大の要因は「標高」にあります。平地である豊橋市は夏に30度近い気温になりますが、標高1000mを超える地域にある婦恋村では、夏でも平均気温が20度前後に保たれます。この涼しい気候こそが、冷涼な環境を好む野菜の栽培を可能にしています。
問9	答え 1 棚田	山がちで平地が少ない地域において、傾斜地に階段状に作られた水田は棚田と呼ばれます。選択肢にある「段々畑」は、同様の地形で果樹や野菜などを栽培する畑を指し、「干拓地」は海や湖を仕切って排水し陸地化した場所を指すため、水田の形態としては棚田が正解となります。
問10	答え 1 上田市	上田市は長野県に位置する内陸の都市です。周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、年間を通じて降水量が少ない「内陸の気候」の特徴を示します。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、1月の平均気温が氷点下になることもあります。
問11	答え 3 石油化学工業	中京工業地帯は日本最大の出荷額を誇りますが、その内訳は場所ごとに特色があります。内陸部の豊田市を中心とした自動車工業（輸送用機械）と並び、伊勢湾沿いの四日市市では臨海部の立地を活かした石油化学工業が発達しており、重化学工業の重要な拠点となっています。
問12	答え 3 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。	日本アルプスは長野県を中心に、岐阜県や山梨県、静岡県などにまたがって分布しています。北から飛騨、中央に木曽、南に赤石の順で並んでおり、これらはプレートの衝突による強い圧力によって隆起して形成されました。奥羽山脈は東北地方の山脈であり、越後山脈は新潟県方面の山脈であるため、日本アルプスには含まれません。
問13	答え 1 レタスやキャベツなどの高原野菜を、主に6月から9月の夏場に出荷する	高冷地農業は、標高が高く夏でも気温が上がりにくい土地の利点を活かした農業です。主な生産品目は、涼しい環境を好むレタス、キャベツ、ハクサイなどの「高原野菜」です。これらの野菜を、平地の気温が高く生産が落ち込む「夏場」に集中して出荷することで、競合する産地が少ない有利な条件で販売することができます。冬場に出荷を早める「促成栽培」とは、気温の利用の仕方が逆である点に注意が必要です。
問14	答え 2 群馬県	長野県は中部地方の中心付近に位置し、北東側で関東地方の群馬県と隣接しています。群馬県は長野県と同様に標高の高い地域を有しており、その冷涼な気候を活かしたキャベツなどの高原野菜の生産が盛んです。選択肢のうち、栃木県は群馬県の東側に位置するため長野県とは接しておらず、石川県は富山県や岐阜県のさらに西側に位置するため長野県とは隣接していません。